

第14回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会 会議録

日時：令和4年11月8日(火)19:00～20:30

場所：多治見市立笠原中学校 会議室

【出席者】

委員：谷口委員、加藤（有）委員、中西委員、稲葉委員、
森本委員、水野（豊）委員、鈴木委員、加藤（智夫）委員、
加藤（智章）委員、前田委員、杉村委員、林委員

事務局：教育長、副教育長

教育推進課 山田、田中、石川、福岡

教育総務課 長谷部、水野、中島、瀬瀬

教育研究所 久野

食育推進課 大竹、渡邊

【欠席者】

委員：土岐委員、各務委員

(要点筆記)

開会	
会長	・第14回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を開会します。
次第1 教育長挨拶	
教育長	・本日は大変お忙しい中、ご出席いただきましたことお礼申し上げます。コロナの感染も第8波を心配していると思いますが学校の方は修学旅行等も順調に進みまして予定通り進んでおります。市の行事全体もたじみ祭が賑わって子どもたちも元気に活躍してくれました。義務教育学校の準備も着々と進んでまいりました。本日は基本設計も概ねまとまったものですから今日報告いただきますとともに学校の名称についても研究会の意見も踏まえて、各関係団体の意見も聞きました。本日の午前中に市長との協議をして決定しましたので報告させていただきます。あと一つ報告がございまして、前回の会議でも出ていた幼稚園・保育園についてもこの義務教育学校の時期に合わせて一体化して認定こども園として現在の笠原保育園の場所で設置されると話が進んでいます。 本日も、活発な意見をいただきますようお願いします。
次第2 (仮称)笠原義務教育学校建築基本設計の概要について	
会長	・次第2「(仮称)笠原義務教育学校建築基本設計の概要に」について設計事務所より説明願います。
設計事務所	(設計事務所より設計の経過報告)
会長	・ただ今の説明で事務局から補足等ありましたらお願いします。
事務局	・基本設計という形で大まかにここまでまとまってまいりました。ただこの後来年度に向けて実施設計という形でもう少し細かい仕上げとか仕

	様とか設備の製品番号とかそういったものも含めて特定していく作業に入っていきます。面積的に当初プロポーザルでご提案いただいたものよりも若干大きくなっています。特に体育館の部分が大きいのですがそういったところもございいますので使っていただきやすい方向にきているかなとは思いますが、もう一つ事務局の立場からは近年の建築物価の上昇等もありまして、それを実際形にしようとするとお金的に数字的にという部分もございいますので、これからはそういった部分で色々なものを取捨選択せざるを得ない部分もあるかなというふうに考えてはいますが色々またアイデアをいただきながらできるだけ良いものにしていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。この後引き続き、仮設校舎の方の説明もさせていただければと思っているのですがよろしいでしょうか。
委員	・少し質問よろしいでしょうか。最初のところで子どもたちが登校してくるのが北側の通路からという話でしたけれど幼稚園側から登校する方法もあるのですか。
設計事務所	・もちろんです。
委員	・ではその子どもたちはどういったふうに校舎に入る予定なのでしょう。現在はプールの左側から入っていると思うのですが
設計事務所	・そこから入ってきた子どもたちも校内に入って一階がピロティとなっていて通れます。
委員	・プールは直すのですか。現状のままということですか。
設計事務所	・プールは新しいものを作ります。同じぐらいの位置に建つというイメージです。
委員	・教育総務課に尋ねますが、小学生が使うグラウンドと中学生が使うグラウンドはそれぞれ分けるということではよろしいでしょうか。
事務局	・それはトラックを二つ分けるというようなイメージでしょうか。
委員	・そうではなく例えば小学生と中学生が同じグラウンドで遊んでいると非常に危険だと思いますので、その分、低・中学年がこの辺りとか遊具をこの辺りに設置するとか、そのような発想は今どのようなようになっていますか。
事務局	・基本的にはグラウンドの大きさは現況のままであまり触る予定はないです。使い方としては実際運営のところである程度そういったルール決めのところとか作っていただいてやっていただくところもあるかなと思います。また当然遊具の設置も検討しておりますのでそれを今どこに設置するのかは決めかねているところもありますけどそれが決まれば、遊具の周辺が学年の小さい子どもが主に遊ぶ場でそれ以外の大きい子どもはそうじゃないところという形になるかなと思っています。もう一つ、教育長から話がありましたけれども、笠原幼稚園の園舎が壊れた後の跡地、こちらが当然拡大されてグラウンドにしていきたいなと思っており

	ます。その辺りも含めて、より効率的に使えるグラウンドをイメージしながら、遊具の設置を考えていきたいなと思っています。
委員	・私は幼稚園の跡地にテニスコートを作る方が管理しやすいし、それからイノシシの害もなくなるのでいいかなと思います。
事務局	・それも案として検討の一つに上がっています。ただ、園舎が開校と同時に壊れてグラウンドの整備がそこまでできないものですからそうすると最低1シーズン、2シーズンテニスコートが無いこともあり得ると思います。それが学校の運営の中で許容いただけるのかも含めて、委員の方が言われたような方法も選択していく話になっていくのかなと思います。
委員	・教室が広くなるのはありがたいのですが、小泉小学校もそうですがタブレットが普及する前の学校でしたのでモニターが教室にあって非常に狭く足下が危ないので、出来れば吊り下げ式モニターにする等の方法はないですか。
事務局	・それをご意見として以前お伺いしておりまして私どもの方でも検討しています。大きいモニターを置くとその台の足は邪魔になって子どもが足を引っかけるというのは話として聞いております。それも一理あるのですが冒頭でお話しさせていただいた通り予算的な部分との兼ね合いも取らなければいけない部分もあります。単純に可動式のキャスター付きでモニターを設置するのと、天井からある程度の重さのものを吊り下げる工事をするのとコストは当然変わってきます。もし仮に可動式のキャスター付きのモニターを設置することになったとしても、部屋のレイアウトや置く場所もある程度考えて邪魔にならないようにと思っておりますが、机も今よりもひと周り大きい新JIS規格の新しいものでタブレットも置きやすい机を設置していくためにはどうしてもクリアランスが不足しますのでその辺りはできるだけ工夫で解消していきたいと考えております。ご理解よろしく願いいたします。
委員	・小泉小学校は廊下が非常に広いのですが休む場がないです。滝呂小学校のように廊下に長椅子を設置できると休む場ができてコミュニティも築けるのではないのでしょうか。
設計事務所	・テラスはベンチを設ける予定です。確かに廊下も広いのでベンチ等も考えているのですが、滝呂小学校のお話にもあるようにいいこともある反面、つまずいたりすることもあると聞いておりますのでその辺り今後先生方のご意見も聞きながら詳細設計に入らせていただきたいと思います。
委員	・小泉小学校にはジャッキーという隠れキャラがあるのですが、笠原も同じようにいこちゃんを隠れキャラとして検討していただけるとありがたいと感じます。
会長	・それでは事務局の方から、仮設校舎についての説明をお願いいたします。

事務局	す。 (事務局笠原小学校仮設校舎についての説明) ・ 補足説明をひとつさせていただきます。令和6年度から今の笠原中学校の方に小学校の児童は通っていただきます。通学路も変わってしまいますので距離が長くなってしまう子どもも多分にみえると思います。2年間は地元の方のご理解をいただいていいものを作っていきたいと思っています。仮設校舎ではありますが学校としての機能を持たせるものを考えております。
会長	・ 只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・ 中学校に空き教室があると思いますが小学生は使用したりするのですか。
事務局	・ 特別教室等は中学校の方を間借りさせていただくことはあります。
委員	・ 交流が何となく出てくるということですね。
事務局	・ はい。
委員	・ 仮設校舎を建てると中学校のテニスコートはなくなるということですね。
事務局	・ 先ほどの説明で抜けていたのですが、グラウンドにテニスコート2ヶ所作らせていただく予定なのでテニスは継続してできます。
次第3 校名の決定について	
会長	・ 次第3「校名の決定」について事務局に説明を求めます。 (事務局より説明)
会長	・ 只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・ 特になし。
次第4 現在の検討状況について	
会長	・ 次第4「現在の検討状況」について事務局に説明を求めます。 (事務局より説明)
会長	・ 只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・ 通学路の件ですが、現在自主的に地域の方が色々なところで子どもたちの見守りをしてくださっていて、通学路が変わって使わなくなるところもあるので地域の方に早く連絡をくだされば、まちづくり市民会議の方でも連絡等対応できますのでお願いします。
委員	・ 校歌ですが多治見市出身のサトウアズサさんが他の学校の校歌を作っているなのでその方に依頼してはどうかと思っているのですが。
事務局	・ 今いただいたご意見も含めて検討させていただきます。
事務局	・ 校章作成依頼予定の谷口佐智子さんについてのご意見は何かありますか。
委員	・ 校章作成依頼をする谷口さんは学校の経営方針や校歌や制服とかいろ

事務局	いろ決まっていく中で決めたいと仰っていて様々なアイデアや情報をいただきたいとのことです。笠原出身の方なのでぜひともお願いしていただきたいと思います。 ・谷口さんとも協議しながら、受けていただけるように頑張りたいと思います。
次第 5 義務教育学校に関する視察について	
会長	・次第 5 「義務教育学校に関する視察」について事務局に説明を求めます。 (事務局説明)
次第 6 その他について	
会長	・次第 5 「その他」について事務局に説明を求めます。 (事務局説明)
事務局	・次回開催：2月2日(木)
副教育長挨拶	
会長 副教育長	・副教育長よりご挨拶を願います。 ・皆様本日はありがとうございました。基本設計そして仮設校舎の説明があり、そういったハード面の説明も受け、つくづく自分自身もですが大きな事業なのだと改めて思いました。ワクワクするのですが、その前に令和6・7年度は小学校と中学校が一緒に中学校の敷地内で過ごし始めます。委員の方からも大変ですが交流も生まれますよねという意見もいただきました。校長先生からは大変ではあるが2年間一緒に過ごすことがより円滑なスタートを切る準備となるのだという意見もあり、大きな事業でありますから不都合やあるいは不便さは付き物だと思うのですが、笠原で学校現場だけでなく地域あるいは市教委一緒に支え合って令和8年4月気持ち良く開校を迎えられるように進めさせていただきます。さしあたり来年度は小学校の引越しの準備等は大変になるかなと思いますので、教育委員会としても精一杯バックアップし混乱がないように進めさせていただきます。 本日は本当に貴重なご意見ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
会長	閉会 ・以上で、第14回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を閉会します。